

令和5（2023）年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会 会議録

会議名称 令和5（2023）年度 第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会

日 時 令和5（2023）年7月12日（水） 午前9時30分開会 午前15時30分閉会

会 場 大田原市役所101・102会議室

出席者

●選定委員

●事務局

氏 名	役 職	氏 名	役 職
篠山 充	教育委員会教育長	君島 敬	教育部長
深澤 道昭	教育委員会教育委員	小室 和徳	学校教育課長
小池 清一	区長連絡協議会副会長	木村 哲哉	学校教育課学校教育係長
越井 二郎	自治公民館連絡協議会副会長	横山 泰子	学校教育課指導主事
森 秀明	大田原市小中学校校長会長	新井 智幸	学校教育課指導主事
小沼 和彦	PTA連絡協議会		
鈴木 章浩	PTA連絡協議会		

1 開 会

事務局： 定刻になりましたので、ただ今から、令和5（2023）年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を開会いたします。はじめに、篠山会長より御挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

会 長： 皆さんこんにちは。本日は、大変お忙しいところ、本市の第2回小中学校教科用図書選定委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。さて、本日の会議は、調査員より調査結果の報告を受け、7月14日の教育委員会への答申内容を検討する会議になります。調査員は、本市の子どもたちの実態に基づき、どの教科書が良いかという観点で調査研究しております。本日はその調査結果に基づいての選定をお願いいたします。なお、本会議は前回の会議で確認したとおり、大田原市立小中学校教科用図書選定委員会設置要綱第7条により、選定委員会による協議は公開、調査員会の報告及び選定委員会による議決は、非公開とさせていただきます。どうぞ本市の子どもたちのために、最も適した教科書の採択を答申できますよう、慎重なる御審議をお願いいたしまして、私のあいさつといたします。

事務局： 次は、調査員による報告となりますので、傍聴の皆さんは、退席をお願いいたします。公開の協議のところになりましたら、再度、入口を開けさせていただきます。

事務局： 本日の資料について確認いたします。要項と資料が1～5まであります。これらの資料につき

ましては、本日の会議終了後には回収をさせていただきます。

次に、本日の流れにつきまして確認いたします。要項表紙を御覧ください。

この後、3の調査結果の「報告・質疑、協議、議決」です。まずは、国語・書写から理科までそれぞれについて時間を区切って「報告・質疑」を進めます。この「報告・質疑」とは、各教科の調査員から調査結果の報告があり、報告をお聞きいただいた後、皆さんの質問の時間を設けます。皆さんから、報告の内容やその他疑問点について質問をしていただきます。この「報告・質疑」は非公開です。そのあと、委員の皆さんには、「協議」をしていただきます。「協議」は公開で、傍聴人が入室します。選定委員の方々からの意見交換の時間となります。本市の児童・生徒が使用するにふさわしい教科用図書についての御意見をお願いいたします。「協議」のあとは、「議決」をします。非公開です。傍聴人は退室します。いったん休憩を入れ、生活科からまた同様の流れで進めて参ります。昼食後も委員会を進め、15時30分、終了の予定です。

次に、要項2ページ「特別支援学級の教科用図書採択・使用上の注意」をご覧ください。1 採択・使用の原則の2行目途中からです。「学校教育法附則第9条の規定により、小・中学校の特別支援学級で特別の教育課程による場合において、教科により当該学年の検定済教科書を使用することが適当でないときは、他の適切な教科書を使用することができることとなっている。」とあります。そのことについてさらに、2の(5)をご覧ください。「検定済教科書の下学年用及び、文部科学省著作教科書を使用することが不適当な場合にあつては、絵本等の一般図書を教科書として採択・使用することができる。」となっています。本日は、この「一般図書」を選定していただきます。

要項3、4ページをご覧ください。表の一般図書の欄にある○印のついている図書に関しては、現在も大田原市の特別支援学級において使用しているものです。◇印のものが今年度新たに調査研究したものです。本日はこの◇印の図書を中心に代表者から報告があります。私からは以上です。

事務局： では、このあとの進行は会長にお願いいたします。

会長： ここからは私が進行いたします。

会長： まず、国語・書写についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「国語科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願ひいたします。「国語科」は3社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、東京書籍株式会社です。各単元に「言葉の力」が明示され、児童が身に付けたい力を意識しながら学習を進めていけるよう工夫されています。また、各単元末に、学習の進め方を丁寧に示しています。2社目は、教育出版株式会社です。1ページあたりの情報量が適切で、児童が目で見分ける構成となっています。「本の紹介」では様々な分野の本が紹介され、読書意欲が喚起されるよう工夫されています。

3社目は、光村図書出版株式会社です。各単元が「問いをもとう」から始まり、課題意識、目的意識をもって学習を進めることができるよう工夫されています。また、単元同士を関連付け、どの領域においても、ねらいに迫れるよう構成が工夫されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上3社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。1つ目は、1年生の下巻から、どの領域においても、その単元で身に付けるべき資質・能力が、単元の冒頭と終末に、「言葉の力」として端的に示してある点です。1年生下巻121ページと、5年生92ページをご覧ください。このように最初に単元で身に付けたい力を児童と共有し、続いて1年生137ページ、5年生102ページをご覧ください。単元の終わりに振り返ってまとめることで、単元を通してねらいがぶれることなく学習が進められるよう配慮されています。2つ目は、単元末に位置づけられている学習の手引きが、児童に分かりやすい言葉で具体的に示されている点です。5年生52～53ページをご覧ください。こちらは、5年生「インターネットは冒険だ」における学習の手引きですが、52ページの矢印部のように、児童が主体的に学習を進めることができるよう、丁寧な説明がなされています。続いて、4年生下巻32ページをご覧ください。4年生の話すこと・聞くことの単元における練習原稿の手直しの見本です。発達段階に応じて細やかで具体的な例示をしているので、どの児童でも見通しをもって学習に臨むことができるよう工夫されています。3点目は、「情報のとびら」についてです。5年生161ページをご覧ください。これは説明的文章の後に位置付けられており、説明的文章で学んだことを「情報のとびら」で整理し、次の書く単元での言語活動につなげています。読む単元で学んだことを、児童が書く単元でスムーズに活かすことができるよう配慮されています。

次に推薦するのは、光村図書出版の教科書です。1つ目は、単元構成が工夫されている点です。6年生38ページをご覧ください。文学的文章「帰り道」では「視点」について学習しますが、5年生で学習した「心情」という言葉を用いて学習を進めるようになっていきます。どの学年も、これまでの学習が生かされ、系統性を意識したものになっています。続いて5年生52～59ページをご覧ください。説明的文章では、見開きで読み切れる短い「練習」教材がはじめに設定されています。これを活用して、長文の学習に取り組むことができる単元構成になっています。2つ目は、学習の流れの提示です。2年生上巻30～31ページをご覧ください。説明的文章や文学的文章では、「問い」「目標」から学習の見通しを見開きで分かりやすく明示しています。2年生上巻40～43ページをご覧ください。話すこと、聞くこと、書くことの領域では、このように簡単な見通しとともに、活動の具体例を示しながら丁寧に学習の進め方を明示している構成となっています。このように、どの領域においても「問いをもとう」から自らの課題を見出し、学習の見通しをもたせています。自らの課題が主体的な学びにつながるよう工夫がなされています。3つ目は、読書活動です。4年生上巻107ページを、ご覧ください。読書単元では、このように学年に応じて、本の紹介やブックトーク、ポップ作りなど、本を通じた友達との交流活動が位置付けられています。こちらまた、巻末に1年生では「この本、よもう」、2年生以上では「本の世界を広げよう」があります。6年生280～284ページをご覧ください。こちらは6年生のものですが、SDGsを含め多様な種類の本が紹介され、国語科以外にも幅広い読書活

動につながるようになっていきます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、光村図書出版を推薦します。

続けて、小学校教科用図書「書写」の調査研究の結果を御報告いたします。「書写」は3社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

はじめに、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、東京書籍株式会社です。「書写のかぎ」として学習のポイントが示され、シンプルに明快に、だれもが楽しく学ぶことができるよう配慮されています。2社目は、教育出版株式会社です。身に付けた書写の力を各教科で生かす場面がすぐにわかる教材が掲載され、書いて伝え合う楽しさが高められるよう配慮されています。3社目は、光村図書出版株式会社です。書写の基本から書写を生かす場面まで幅広い観点での教材が掲載され、日常生活のあらゆる場面の「書く力」を高めることができるよう工夫されています。

続いて、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上3社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず推薦するのは、東京書籍株式会社の教科書です。3年生22ページをご覧ください。系統的に整理した小学校の学習事項それぞれのポイントが「書写のかぎ」として示されています。発達段階を考えて端的でわかりやすい説明が掲載されています。次に2年生12ページをご覧ください。低学年において難しそうな内容もイラストを取り入れていることでわかりやすく、楽しく学ぶことができるようになっていきます。続いて14ページをご覧ください。このようにクイズ形式で考えさせることで、子供たちに親しみを感じてもらえるよう配慮されています。次に、1年生4ページをご覧ください。左利きの持ち方や構え方を右利きと同様に示しています。また、児童が手を重ねて確認できるよう写真が大きく掲載されているのも特徴です。24ページをご覧ください。色覚特性の児童にとっても見やすい紙面となるよう専門家の検証を受け、このような使用色の工夫をしています。このように全ての児童にとって学びやすい配慮がされています。

次に推薦するのは、光村図書出版株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。1つ目に、「書く力」を伸ばすための工夫がされており、3年生16ページをご覧ください。学習の進め方や「たいせつ」のコーナーに、学習ポイントが示されています。また、硬筆覧が新設され、毛筆で学んだことを硬筆で生かす意識を高められるよう工夫されています。3年生31ページをご覧ください。左上に動画のQRコードがあります。こちらをタブレットPCで読み込むと、毛筆の筆使いを確認することができます。上からとななめからの映像で、ポイントの解説もあります。QRコードの総コンテンツ数も363点と多いのも特徴です。2つ目です。3年生24ページをご覧ください。全学年に「書写広げたい」というページが新設されました。国語や他教科、日常生活に関わるような教材が取り上げられ、学びを日常に生かすことができるよう工夫されています。4年生22ページをご覧ください。4年生には「SDGsブック」が掲載され、書写を通してよりよい未来を作るアイデアを提案しています。3・4・5・6年の裏表紙にSDGsコーナーが設けられており、環境を意識した構成になっています。3つ目です。1年生1ページと3年生1ページをご覧ください。学習が始まる1年生には「しよしゃすたーとがっく」、毛筆学習が始まる3年生には「毛筆スタートブック」が掲載されています。書写や毛筆の基本がまとめ

られており、児童が学びやすい構成となっています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、光村図書株式会社を推薦します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会 長： では、調査員の先生、ありがとうございました。

会 長： 次は、社会・地図についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「社会科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。「社会科」は東京書籍、教育出版、日本文教出版の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。まず、東京書籍です。問題解決的な学習を意図した単元構成と二次元コード・コンテンツの連携で、主体的な学びを意識した構成になっています。まとめ方の例が豊富で、年間を通して多様なまとめ方を体験できるように工夫されています。また、5年生と6年生は分冊配本形態を採用し、重量負担への配慮もなされています。次に、教育出版です。写真や資料が豊富で、二次元コード・コンテンツが関心や意欲を高めるように工夫しています。また、右ページ下部に、「次につなげよう」を掲載し、単元を通してのつながりを意識して学習できるように配慮しています。次に、日本文教出版です。各単元ごとに個別最適な学びと協働的な学びのバランスを考えて構成されています。二次元コードによるコンテンツも豊富で充実しています。また、各単元ごとにSDGsの視点で考えるように構成され、未来に対して自分ごととして考えるように工夫しています。

続きまして、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上3社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を述べます。5年生上巻90ページをご覧ください。各学年とも学習を深める問いである「学びのポイント」、身に付ける技能や方法を示した「学び方コーナー」が随所に設けられ、社会科の学習に必要な資質・能力を身に付けられるよう工夫されています。3年生24ページをご覧ください。小単元における学習の流れが明示されており、見通しをもって主体的に問題解決的な学習が進められるよう配慮されています。6年生、政治・国際編35ページをご覧ください。ダイヤモンドランキングや新聞などのように、様々な立場から考えたり、多様な方法でまとめたりする活動が設けられており、多角的に考察し表現することができるよう工夫されています。

次に推薦するのは、日本文教出版の教科書です。6年生220～221ページをご覧ください。図表やグラフ、デジタルコンテンツなど資料が豊富であるほか、社会的事象に至る背景も

掲載されており、社会的事象を多角的に理解することができるよう工夫されています。5年生132～133ページをご覧ください。学習内容を振り返って話し合い、さらに考えたい問題を見つける「深め合い活動」の様子が具体的に示されており、身に付けた知識を更に深め、生まれた新たな課題を次の学習に生かせるよう工夫されています。6年生34～35ページをご覧ください。SDGsについて考えるページが掲載されており、現代の諸課題への意識を高めることができるよう工夫されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、日本文教出版を推薦します。

引き続き、小学校教科用図書「社会科地図帳」の調査研究の結果を御報告いたします。「社会科地図帳」は2社について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。東京書籍についてです。見やすく学びやすい地図帳となるよう、デジタルコンテンツを豊富に用意し、新コーナーホップ、ステップ、ジャンプ」を随所に設置し、楽しく学習に取り組めるよう配慮がなされています。株式会社帝国書院です。初めて地図帳を手にする3年生への配慮がなされ、土地の高さを的確に色分けし、我が国や外国の地形について視覚的に理解できるよう工夫されています。また、「地図マスターへの道」を100問掲載し、深い学びにつながる配慮がなされています。

「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上2社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、2社を共に推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の地図帳です。推薦の主な理由を述べます。35～36ページをご覧ください。新コーナーホップ・ステップ・ジャンプを随所に設置し、地図を見る際のポイントを示し、理解を深める配慮がなされています。ここでは、飛騨山脈、赤石山脈に注目し、日本の屋根と呼ばれる山脈の様子について理解を深められるよう配慮されています。また、左上にあるようなQRコードも随所に設置され、動画などのデジタルコンテンツが豊富に用意されており、学習に役立つ配慮がされています。77～78ページをご覧ください。6学年の歴史学習において、同時代における世界の様子を示した地図を掲載し、日本の歴史と外国の歴史を関連づけて理解できるよう、配慮がなされています。例えば、鎌倉時代の学習では、元が攻めてきた様子について学習しますが、当時の元がどのような国だったかを理解するのに役立ちます。

次に推薦するのは、帝国書院の地図帳です。25～26ページをご覧ください。高学年が主に見る「日本各地方を見る地図」とは別に、中学年向けの「広く見わたす地図」が用意され、地図に掲載される情報を絞って掲載されています。例えば、4学年では栃木県全体の様子を学習しますが、このページにおける東北自動車道に注目すると、南北に縦断していることが容易につかむことができます。63ページをご覧ください。土地の高さを的確に色分けし、我が国や外国の地形について視覚的に理解できるよう工夫されています。土地の高さの区分にも特徴

があり、高い土地が特に際立つよう配慮されています。栃木県に注目すると、北西部に土地の
高さが高いこと、つまり山地が広がっていることが容易につかむことができます。31～32
ページをご覧ください。「地図マスターへの道」を随所に100問設置し、地図に対する興
味・関心を高め、深い学びとなるような配慮がなされています。ここでは、日本の東西南北の
端の島や北方領土、地図上に表される実際の距離に注目させ、理解が深まる配慮がされていま
す。

以上のことから、順位を付けるとすれば、帝国書院を推薦します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

委 員： 大丈夫です。

会 長： では、調査員の先生、ありがとうございました。

会 長： 次は、算数についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容につい
て、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「算数科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたし
ます。「算数科」は6社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。
た。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は東京書籍です。解決の
過程や結果を式や図、表などの数学的表現を用いて伝え合えるような学習活動が多く取り入れ
られ、数学的な思考力、判断力、表現力を伸ばす工夫がなされています。デジタルコンテンツ
が充実しており、個別学習・補充学習ができるようになっています。2社目は、大日本図書
です。学習のめあてと主問題が明示されており、本時の内容を明確に意識しながら学習ができ
るようになっています。また、日常生活に関連した問題を設定することで、児童が数学的活動
を通して考える楽しさを実感できるようになっています。3社目は、学校図書です。問題解決
に対して、多様な考えが示されていることで、児童の深い学びや対話的な学びにつながるよう
になっています。難易度の高い単元では、学習する内容を二部構成にし、知識の定着を図るこ
とができるよう工夫された単元設定になっています。4社目は教育出版です。つながりの系統
性が見やすく配置されており、既習事項を踏まえて次の学習に進めることができる構成になっ
ています。問題発見力、問題追究力を伸ばすことができるよう、「はてな」「なるほど」「だ
ったら」の学びのサイクルが位置付けられています。5社目は、啓林館です。問題が質・量と
もに充実しており、繰り返し学習をしていくことで学力の向上が期待できます。学びの過程
が、「課題」「めあて」「考え方」の順に提示されており、児童が見通しをもったり主体的に

学習できたりするよう工夫されています。6社目は、日本文教出版です。デジタルコンテンツが豊富で、児童が進んで学習に取り組めるようになっていきます。単元の始めに既習事項を確認するページが掲載されており、学習のつながりを意識することができるように工夫されています。また、データ活用の学習内容が多く取り上げられています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上、6社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を述べます。1つ目です。各単元の導入に、日常生活との関連を重視した場面が設定されており、児童が課題を明確に捉え、見通しをもって学習を始めることができるようになっていきます。5年生下18ページをご覧ください。「平均」の単元の冒頭に、日常生活におけるならす場面の例を提示することで平均の概念を理解し、その後の基礎的基本的な技能を習得できるよう工夫されています。2つ目です。深い学びを促す問題が設定されており、既習内容を基に自分の考えを見いだしたり、記載された考えを説明する活動を通して表現する力を身に付けたりできるように工夫されています。3年生下26～27ページの上の部分をご覧ください。「小数」の学習では、記載された考えを基に、自分の考えと比較したり、説明したりする活動を設定することで、思考力や表現力が身に付けられるような工夫がなされています。3つ目です。発展的・補充的学習への配慮として、既習の学習で児童が身に付けた内容を基にして、考えを広げたり、深めたりしながら発展的な学習に取り組ませています。また「次に考えてみたいこと」を提示して、未習事項への意欲付けになるよう工夫されています。さらに、多くのページにQRコードが掲載されており、教科書の内容をデジタルで動的に学んだり、補充練習をしたりして、学力を更に向上できるよう工夫されています。2年生下48ページをご覧ください。かけ算の学習で身に付けた基礎的・基本的な内容を基にして、かけ算のきまりを生かして考える問題が提示されており、学習をさらに深めることができるよう工夫されています。

次に推薦するのは、啓林館の教科書です。1つ目です。図や言葉、動画による作図の手順が分かりやすく記載されており、児童が正しく作図の技能を身につけられるようになっていきます。また、フォントや配色にユニバーサルデザインが導入されていたり、紙面の分量が適量であったりと、多くの児童が支障なく学習できるよう工夫されています。5年生82～83ページをご覧ください。「合同な図形」では、作図の3つの方法が、図や言葉で説明されており、児童が正しく作図できるような工夫がなされています。2つ目です。児童が主体的に学習することができるよう、問題発見・解決の過程が「見方・考え方マーカー」を用いて順を追って示されており、問題の解決の見通しをもったり、その過程を振り返ったりすることができるようになっていきます。4年生下巻40～41ページをご覧ください。「小数のかけ算とわり算」では、問題解決に向けて、既習事項を生かした計算の仕方を筆算の仕方につなげられるよう工夫されています。3つ目です。児童がつまづきやすい割合の学習に関して、3年生時から線分図

や関係図を導入し、割合の学習の定着や中学校の数学での学習内容につなげることができるよう工夫されています。3年生下巻16ページをご覧ください。「何倍でしょう」の学習では、全体と部分の関係を表す際にテープ図や関係図を用いることにより、解決への見通しが立てられるよう工夫されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、啓林館を推薦します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

委 員： 現在使っている教科書はどちらの出版社ですか。

調査員： はい。現在使っているのは、啓林館を使っております。

会 長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長： 次は、理科についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「理科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしく願いいたします。「理科」は5社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は東京書籍株式会社です。問題解決の過程を1本のラインで示すことによって、見通しをもって主体的に学習を進めることができるようになっていきます。2社目は、大日本図書株式会社です。すべての単元で問題解決の全過程が掲載され、問題解決の力が自然に身に付くようになっていきます。3社目は、学校図書株式会社です。その学年で付けたい力を明確に示し、児童が学習後に振り返ることで自己の成長を意識できるようになっています。4社目は、教育出版株式会社 単元導入では、子どもの疑問を引き出しやすい写真が掲載され主体的に学習に取り組めるようになっていきます。5社目は株式会社新興出版社啓林館です。問題解決の過程で話し合い活動が例示されており、児童が対話的・協働的に学習が進められるようになっていきます。

続きまして、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上5社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。6年生、10ページをご覧ください。単元の導入で、簡易的な体験や写真資料を使った題材、自然現象との触れ合いを取り上げることで、児童の興味・関心を高めるよう工夫されています。続いて、11～14ページをご覧ください。「問題をつかもう→予想しよう→計画しよう→実験→考察しよう→まとめ」の一連の流れによって、問題解決の過程をつないだ「学びのライン」により、児童が見通しをもって主体的に学びを進めていくことができるよう配慮されています。続きまして、12ページ右上「話し合いの例」、13ページ右上「やり方」、14ページ中程「デジ活」、主体的な問題解決学習をサポートしたり、17ページ中程には、学んだことを広げたりするための

QRコンテンツとして「動画」が豊富に用意され、学習の流れの中で活用できるよう配慮されています。

次に推薦するのは、株式会社新興出版社啓林館の教科書です。6年教科書119ページをご覧ください。対話的・協働的な活動が例示されており、自分の考えの根拠を明確にしたり、妥当性を高めたりすることができるよう工夫されています。また、吹き出しの中にあるように、問題を解決する際のポイントに、マーカーが引かれており児童が理科の見方・考え方を働かせながら、問題を見だし自分の考えを整理することができるよう工夫されています。続いて120ページをご覧ください。「理科の広場」、123ページの「くらしとリンク」では、人工衛星を利用した位置情報で日常生活や社会に関連した話題を取り上げることで、理科の有用性を認識することができるよう配慮されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、株式会社新興出版社啓林館を推薦します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会 長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長： 次は協議ですので、傍聴人が入室いたします。

会 長： 協議を始めます。国語・書写、社会・地図、算数、理科についてご意見ございますか。

委 員： 先ほど、各教科で発表を聞き、また、手元にある資料を見て、担当の教員が非常に丁寧に詳細な教科書の分析を行っていただいたと改めて思いました。今日は説明に一人ずつでしたが、この資料を作るために複数の各教科のベテランの教員が資料作成に関わっているということで、客観的な資料を作っていただいたと感じております。それを踏まえて協議となっていくわけですが、今の小学校1年生から6年生が二十歳になるのは、15年から20年先になるわけです。今、教科書で学んでいることが、今の子どもたちが社会に出て生きていく上で必要となる力、資質・能力といった、素地となるものを教科書で身に付けていくという視点で、各教科において資料を作られていると思います。具体的には、QRコード等がたくさんついており、文字情報だけではなく、この教科書で学んでいることが必要な力の素地となる視点で作られているわけです。ぜひ、大田原市の子どもたちにとって、より良いものが選ばれればと思います。よろしくお願いいたします。

会 長： 委員の方から感想ということで伺いました。その他ございますか。

委 員： 調査に当たって、しっかり調査研究されていると思えました。すべての教科書に目を通しましたが、どの教科書も素晴らしいと思えました。その中で、選ぶのは難しいと思いましたが、先ほどの結果の報告をいただき、納得させられたところがあります。

会 長： その他の委員さんでありましたら、お願いいたします。

委 員： いろいろな出版社を見て、いろいろなカラーが出ていると正直思いました。それを踏まえて、先生方が子どもたちにとって、ふさわしい選び方をしていただいたと思いました。国語ですが、先生方が選んだ教科用図書と同じ学年を見させていただいて、人の感情を形成するような物語が多かったと感じました。今、パソコンの時代ではありますが、やはりそういうものが多いもので、正直良かったと思いました。

会 長： ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

委 員： 今、説明を受けて、まとめられたご苦労に対して、特に1社に絞らなければならないという使命感に対して、それぞれ御意見がありながらまとめられたことに対して敬意を表したいと思います。

会 長： ありがとうございます。

では、次は議決となりますので、傍聴の皆さんは、ご移動をお願いいたします。

会 長： では、議決です。国語について、本委員会としては「光村図書」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 書写について、本委員会としては「光村図書」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 社会について、本委員会としては「日本文教出版」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 地図について、本委員会としては「帝国書院」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 算数について、本委員会としては「啓林館」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 理科について、本委員会としては「啓林館」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： では、ここで休憩といたします。11時05分からの再開といたします。

休憩

会 長： 再開いたします。まず、生活についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「生活科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしく願いいたします。「生活科」は6社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、東京書籍株式会社です。スタートカリキュラムを意識した構成になっており、保護者や児童自身がこれまでの経験を生かしながら安心して、自己を発揮しながら学校生活を送ることができるように配慮されています。具体的な活動や体験を通して思考するという低学年児童の発達にも配慮されています。2社目は、大日本図書株式会社です。学んだことを活用できるようにしたらいいのか、ポートフォリオ、ICTの活用の例、他者との協動的な学びが実現できるようになっており、児童一人一人の好奇心を起点にした活動の単元展開、単元の学びを通して及び児童の探究的な学びが保証されている。どの単元も、学習者の思考の流れに添った配列になっています。3社目は、学校図書株式会社です。巻頭に単元計画を提示することで、一年間の見通しをもつことができるように配慮されています。巻末に図鑑が設けられ、児童が自分自身で解決することができるよう工夫されています。4社目は、教育出版株式会社です。生活科で育成する資質・能力を教科書にマークにして示すことで、児童が学びを深めることができるように配慮されている。各単元の学習の際に、巻末の「学びポケット」において他教科との関連を図ることで、教育の効果を高めることができるよう工夫されています。5社目は、光村図書出版株式会社です。有名絵本作家の絵と言葉が挿入されており、文字よりも写真や絵が多用されていて、視覚的に見やすい構成になっています。6社目は、株式会社新興出版啓林館です。「わくわく(単元導入)」、「いきいき(主な活動)」、「ぐんぐん(振り返り)」と構成することで、各単元の活動の連続が意識され、単元を通じた学習の見通しをもつことができるよう配慮されています。低学年児童でも活用できる「デジタルたんけんブック」という学習の参考になる情報を閲覧することで、調べ学習や

個人の興味に合わせた発展的な学習につなげることができるよう工夫されています。これを踏まえ、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上6社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を述べます。1つ目です。A4サイズのゆとりある紙面構成で、多くの写真が掲載されています。上巻1～13ページをご覧ください。このように、入学して間もない児童が学校生活への期待が高まるような写真やイラストを多く取り入れ、児童が入学直後の生活を安心して送ることができるようなスタートカリキュラムについて特段の配慮をしています。また、QRコンテンツが豊富で、児童の興味・関心に応じて活用できるよう配慮されています。2つ目です。上巻48～49ページをご覧ください。ここでは実際に行った活動と気付いたこと等の発表・交流の活動の様子が一体的に例示され、児童がイメージをつかみやすく、低学年児童の発達段階に配慮されています。すべての児童が安心して学習活動に取り組めるような工夫がされています。

次に、推薦するのは、大日本図書の教科書です。推薦の主な理由を述べます。1つ目です。A4サイズでゆとりある紙面構成で、多くの写真が掲載されています。上巻5ページをご覧ください。きもちマークに色を塗り、この時期、文字が思うようにつけられない1年生でも意欲の高まりや今の気持ちを表現しやすい工夫がなされています。また、下巻69ページをご覧ください。町たんけんで学んだことを、おうちの方に報告したり、説明したりする内容が含まれており、どのように家庭と連携を図ったらいいのか、学んだことを活用できるようにしたらいいのかなどについて、ポートフォリオなどとともに掲載されています。下巻38ページをご覧ください。ICTの活用、他者との協動的な学びが実現できるようになっており、児童一人一人の好奇心を起点にした活動の単元展開、単元の学びを通して及び児童の探究的な学びが保証されるようになっています。また、上巻70ページをご覧ください。季節を変えて同じ場所に何度も出かけることで、その場所の変化や季節の移ろい等について、五感を通して気付けるように考慮されています。これにより、動植物と具体的に触れ合う活動を数多く体験する場面が紹介されており、生命尊重の心情が育まれるように配慮されているといえます。生活科を中心としたスタートカリキュラムの編成が可能となるよう、上の巻冒頭部分では、合科的・関連的な指導や弾力的なカリキュラム編成ができるよう、他教科マークを記載した紙面が盛り込まれ、学習者のニーズに合わせた配慮がなされています。上巻16、18、20ページをめくりながらお聞きください。単元計画ですが、学習者の思考の流れに添った配列がなされており、児童が「やってみよう」と思える問いも要所要所に位置づけられています。また、下巻18、19ページをご覧ください。写真や図表を色彩豊かにしたり、QRコードから学習活動に必要な情報を手軽に取り入れられるように配慮されています。また、書体がユニバーサルデザインフォントとなっており、児童にとって見やすく、また読みやすくなっています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、大日本図書を推薦します。

会長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

委員： 現在使われている教科書はどちらの教科書になりますか。

調査員： 東京書籍です。

会長： その他ございますか。では、調査員の先生ありがとうございました。

会長： 次は、音楽についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

調査員： 小学校教科用図書「音楽科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくをお願いいたします。「音楽科」は2社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、教育出版社です。児童が見通しをもって学習に取り組むことができる工夫がされています。全学年に「学びナビ」や「学び合う音楽」、「学びマップ」の掲載の他、様々な写真や絵が掲載されており、児童の想像力を豊かに育てる学習を展開することができます。また、ユニバーサルデザインを意識した誌面構成になっています。2社目は、教育芸術社です。学習活動を展開するための手立てが具体的に掲載されています。また、個別最適な学びが各ページにサポートされていたり、生活や社会と音楽の関わりを意識した内容が取り入れられたりしているなど、児童や学校の実態に対応できる内容になっています。

次に「推薦する教科用図書」について御説明いたします。

まず、推薦するのは、教育出版社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。1つ目は、児童自らが音楽の良さや面白さ、美しさに気付き、主体的に音楽を学べるよう工夫されています。4年生34、35ページをご覧ください。鑑賞領域には「学びナビ」や「学びリンク（二次元コード）」が設置されており、個別に楽器の音色を聴くことができるなど、学びを深められるようになっています。また、5年生の26、27ページをご覧ください。「学び合う音楽」のコーナーでは、音楽活動に協働的に学べる提案がされています。続いて、6年生22、23ページをご覧ください。共通教材で使用されている写真や絵は、ご覧の通り歌詞に忠実に表現されており、児童のイメージを喚起しやすい工夫となっています。また、学年の発達段階を考慮したユニバーサルデザインを意識しています。1年生34、35ページをご覧ください。こちらの鍵盤の大きさは、鍵盤ハーモニカの実物と同じ大きさになっています。さらに、6年生80、81ページの折り込みページをご覧ください。内容は、学年で習得する共通事項を中心にまとめられていて、児童が常時利用しやすくなっています。

次に推薦するのは、教育芸術社の教科書です。こちらは、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されています。6年生14、15ページをご覧ください。「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」のマークで、何を学ぶかが具体的に示されています。また、題材ごとにねらいとまとめが示されており、学んだことを振り返り、次の学習につなげることができるよう配慮されています。そして、個別に学べる二次元コードが全ページに掲載されていて、内容が豊富です。3年生34、35ページをご覧ください。奏法や音源などが提供されていることに加え、音楽づくりの教材では、児童が端末機器を操作しながら、自分の思いを表現・

発表できるなど、機能が充実しています。2年生28、29ページをご覧ください。身の回りで見つけた音を音楽づくりの学習につなげる手立てが分かりやすく示されています。児童だけでなく、音楽専科でない教員も見通しをもって授業を進めやすくなっています。また、6年生24、25ページをご覧ください。著作権についての学習内容が設けられています。この学びは、社会と音楽との関わりを考え、生涯にわたって音楽を親しんでいく態度を育てる内容となっています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、教育芸術社を推薦します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

委 員： 音楽だけではないかもしれませんが、例えば、何年生はどこの出版社の方が良かった。何年生はどこの出版社が良かったというものはありましたか。

調査員： 音楽に関しては、写真や歌詞の表現が分かりやすい教育出版社と、すぐに見通しがもてる教育芸術社と全学年特長が表れていたのが、今回は何年生というのはありませんでした。今回、二次元コードが全ページに載っているところと、自分でそれを操作できるところまで入っているところを考えると、教育芸術社を推薦しようということで調査員の方で相談していたところです。

会 長： その他いかがでしょうか。では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長： 次は、図工についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長： 調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「図画工作科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いたします。「図画工作科」は、「開隆堂出版株式会社」、「日本文教出版株式会社」の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、開隆堂出版株式会社です。児童にとって見やすく、魅力的な紙面で学びやすい工夫がなされ、児童の自立を促し、造形を通して感性を育み、人間教育を意図した教科書となっています。2社目は、日本文教出版株式会社です。子どもの活動する姿や作品に対する思いを多く紹介し、わかりやすいプロセスと観点別目標を明示し、子どもたちが、自らためし、かかわり、作り出す姿を求めた教科書となっています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上2社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果を述べさせていただきます。

まず、開隆堂出版の教科書です。3・4年上巻8、9ページをご覧ください。カラーユニバーサルデザインの観点に配慮した紙面のデザインです。紙面の作品の写真が光らないような印刷

が施されており、作品の微妙な質感が鮮やかに再現されています。左上ページの学習のめあてのところをご覧ください。図画工作で育てたい3つの力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性等」を3つのキャラクターで示し、それぞれの観点を児童向けの文章で表現し、児童にとって活動のめあてが分かりやすくなっています。ご覧のように、水色・黄色・赤のキャラクターが示されています。重点を置いている活動は朱書きで表示され、その目標に対応したキャラクターのふきだしに児童の学習を深める支援の言葉を表記しています。ここでは、9ページ中段に水色のキャラクターが「水の量をかえると、どうなるかな。」とアドバイスを出しています。各題材が見開き2ページで構成されています。左ページ上側から「用具・材料」「学習のめあて」「題材名」「活動を促すリード文」となり、左ページ下には、「タブレットたんまつで見てみよう」右ページ下側に「さんこう」「かたづけ」「ふりかえり」「あわせて学ぼう」と構成されていて、単元の学習の一連の流れが指導者・児童ともに非常に分かりやすく表示されています。5～7ページの目次のページをご覧ください。目次が活動例の写真とともに、造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞の各分野が色別に表示されていて、児童・指導者ともに活動内容が分かりやすく、一年間の学習の見通しが立てやすいように構成されています。19ページ下側をご覧ください。危険を伴う用具を使う活動の時には、注意喚起の表記し、用具の安全な使い方を「タブレットたんまつで見てみよう」の中のQRコードで動画や写真で見られるようになっていきます。巻末には用具の使い方について示しています。18ページ下側をご覧ください。「タブレットたんまつで見てみよう」のQRコードでは、学習活動の説明・用具の使い方の動画や作品の写真を見ることができます。また、作品カードや振り返りカードなども掲載されています。63ページをご覧ください。全学年の教科書の巻末にタブレット端末を使った学習活動が記載されています。タブレットを使える活動にはタブレットアイコンが表記されていて、QRコードで活動の動画が見られるようになっていきます。44ページをご覧ください。鑑賞の学習で使える作品の写真のページが掲載されていて、鑑賞シートがQRコードで使えるようになっていきます。

次に、日本文教出版の教科書について述べます。3・4年生上の表紙をご覧ください。カラーユニバーサルデザインの観点に配慮した紙面のデザインになっています。表紙には耐水性のコーティングが施され、丈夫で水濡れに対しても耐久性があります。18、19ページをご覧ください。図画工作で育てたい3つの力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性等」を3つの記号で分かりやすく示していて、3つの力の育成が実現できるように工夫されています。表現のヒントとして、児童の発想を広げる具体的な手立てを表記しています。各題材が見開き2ページで構成され、左上に「題材名」「学習を促すリード文」「学習のめあて」「題材名」「活動を促すリード文」下端には、「材料・用具」「注意事項」「かたづけ」「QRコード」、必要に応じて関連教科を表記してあります。活動写真に児童のつぶやきの吹き出しを表記し、児童の発想を広げる工夫がされています。2～4ページ目次をご覧ください。目次のページには造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞の各分野が色別に表示されています。図工体操・保護者の方へのお願い・教科書の使い方・学習の進め方が表記されていて、児童・指導者ともに活動の進め方が分かりやすくなるように工夫がされています。17ページ下側をご覧ください。安全指導に重点を置き、活動する上での注意事項が各単元に示されています。

58ページをご覧ください。巻末に用具の安全な使い方を丁寧なイラストで示しています。また、危険を伴う用具を使う活動には、QRコードにて道具の安全な使い方の動画が見られるように工夫されています。また、各単元にあるQRコードでは、学習活動の説明・用具の使い方の動画や作品の写真を見ることができます。掲載されている作品例の数が多いです。33ページをご覧ください。ICTの活用が有効な活動にはタブレットアイコンが示されています。鑑賞の学習で使える活動には鑑賞のマークが示されています。教科書美術館のページが掲載されていて、鑑賞の学習ができるようになっています。以上、それぞれの教科書には特色があります。平等を期すため、同じ観点で比較検討をいたしました。その結果、児童・指導者の授業での使いやすさの観点に鑑みて、順位を付けるとすれば、開隆堂出版を推薦致します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会 長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長： 次は協議ですので、傍聴人が入室いたします。

会 長： 協議を始めます。生活、音楽、図工についてご意見ございますか。

委 員： 先ほどと同じですが、どの教科書も使いやすさ等、工夫されていると感じました。その中で、担当する先生が、しっかり細部にわたって調査研究をされた内容を御報告いただきました。その結果、子供たちにとってよりよいもの、先生方にとって教えやすいものを今回選んでいただいたと思います。ありがとうございました。

会 長： では、次は議決となりますので、傍聴の皆さんは、ご移動をお願いいたします。

会 長： では、議決です。生活について、本委員会としては「大日本図書」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 音楽について、本委員会としては「教育芸術」の教科用図書を選定し、次の候補として「教育出版」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 図工について、本委員会としては「開隆堂」の教科用図書を選定し、次の候補として「日本文教出版」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委員： 結構です。

会長： では、ここで昼食休憩といたします。午後は、13時5分からの再開といたします。

昼 食 休 憩

会長： 再開いたします。まず、家庭についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「家庭科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、東京書籍株式会社です。学習指導要領の「家庭科の目標および内容」「指導企画の作成と内容の取扱い」に従い、

基礎的・基本的事項がもれなく適切に取り上げられています。各題材が「課題発見」「課題解決・実践活動」「評価・改善」の三つのステップで構成されており、問題解決的な学習を繰り返すことによって、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むとともに、家庭や地域の一員として実践できるよう配慮されています。2社目は、開隆堂出版株式会社です。学習指導要領の趣旨が明確に整理された構成になっています。各題材において「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の三つのステップで問題解決的な学習を進めることで、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むとともに、家庭や地域の一員として実践することができるよう配慮されています。5学年で11題材、6学年で9題材が設定されており、5学年では、スモールステップで反復学習を行い、基礎・基本の定着を図り、6学年では、5学年で学習した技能を生かした題材となるよう2年間を見通した題材の配列になっています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。1つ目です。各題材とも基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な内容の学習へと系統的に展開されていて、教科の特徴が無理なく具現化されています。2つ目です。多くの写真と豊富な情報が掲載されています。88ページをご覧ください。調理法や切った実物大の食材を掲載したりするなど可視化がされており、イメージがつかみやすく、不安なく活動できるようになっています。3つ目です。12ページをご覧ください。各題材の最初に「家庭科の窓」が設定され、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて実践的・体験的な活動を行うことができるよう配慮されています。4つ目です。44、45ページをご覧ください。ページ下部に「メモ」や「ふり返ろう」を設けたり、用語を表す英単語をページ数横に掲載したりすることで、豊富な情報に触れられるよう工夫されています。5つ目です。8、9ページには、衛生や安全に関する内容を掲載したり、感染症について記載したりすることにより、安全指導の徹底を図ることができるよう工夫されています。

次に推薦するのは、開隆堂出版株式会社の教科書です。1つ目です。各題材とも基礎的・基

本的内容の習得から応用・発展的な内容の学習へと系統的に展開されていて、教科の特徴が無理なく具現化されています。2つ目です。11ページをご覧ください。動画やアニメーション等のデジタルコンテンツが多数掲載され、右上のQRコードを読み込むことにより児童が実際に活動する際にイメージしやすいように配慮されています。同じく11ページ右端などにあるカラーのインデックスを使うことで、領域ごとの学習が児童にとって理解しやすくなっているため、主体的に学習を進めることが可能となっています。3つ目です。児童にとって本当に必要な情報の質と量が十分に考えられており、児童の視点も焦点化され、発達段階に応じた内容の扱いと表現になっています。4つ目です。140ページ巻末の「生活の中のプログラミング」では、家電製品のプログラミング例を示すとともに、フローチャートを用いて効率よくつくるためのプログラミングを考えることで、プログラミング的思考が育成できるよう工夫されています。5つ目です。16ページ、18ページに掲載されているように、専門的な情報が得られるよう「キャリアインタビュー」コーナーを多数掲載しています。また、78ページをご覧ください。各題材の中でSDGsに関連させた環境学習を取り扱っており、視野を広げる工夫としてもよく配慮されていると考えます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、開隆堂出版株式会社を推薦します。

会長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会長： 次は、保健についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「保健体育科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしく願いいたします。「保健体育科」は6社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」についてご説明いたします。1社目は、東京書籍株式会社です。書き込みが豊富にあり、児童の主体的な学習を促す紙面構成となっています。また、小単元の最後には「資料」として学習を広げたり深めたりするのに役立つ情報が掲載されています。2社目は、大日本図書株式会社です。「おりこみカード」を採用しており、自分の生活を振り返る活動や話し合い活動での補助具として用いることができるようになっていきます。3社目は、株式会社大修館書店です。学習内容に関連したデジタルコンテンツに加え、小單元ごとにQRコードで「ほけんクイズ」に挑戦できるようになっており、児童が楽しみながら学習内容の定着を図ることができるようになっていきます。4社目は、株式会社文教社です。各単元の最後には「わたしの○○せん言」として自分の課題について考える場が設けられており、今後の健康に対する実践意欲を高められるようになっていきます。5社目は、株式会社光文書院です。「まめちしき」「他教科との関連」「ウェブサイトの紹介」などが豊富に記載されており、様々な資料と関連付けながら学習できるようになっています。6社目は、株式会社Gakkenです。各単元の導入では、学

習内容に関連する自身の経験を振り返る活動が設けられており、学習課題に対する興味・関心を高めて学習に取り組むことができるになっています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上6社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を述べます。はじめに、3・4年生用教科書24ページをご覧ください。このように、「コンピュータの使用とけんこう」など、現代社会での健康問題に触れています。課題の解決について考え、行動につなげることができるよう配慮されています。次に、3・4年生用教科書21ページをご覧ください。このように、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで授業の流れが構成されており、児童が見通しをもちながら、主体的・対話的で深い学びとなる構成になっています。最後に、5・6年生用教科書57ページをご覧ください。「まめちしき」では、児童が幅広い知識を身に付けたり、実生活に生かしたりできるよう工夫されています。

次に推薦するのは、大修館書店の教科書です。はじめに、5・6年生用教科書63ページをご覧ください。「受動喫煙」などの現代社会での健康問題が掲載されており、課題の解決について主体的に取り組むことができるよう配慮されています。次に、5・6年生用教科書64～65ページをご覧ください。このように、「きょうの課題」「調べよう」「まとめ」の3つのステップで授業の流れが構成されています。また、1時間の学習内容が見開き2ページで構成されているため、教師も児童も見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されています。最後に、3・4年生用教科書41ページをご覧ください。デジタルコンテンツの「ほけんクイズ」で、楽しみながら学習内容の定着を図ることができるよう工夫されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、大修館書店を推薦します。

会長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会長： 次は、外国語についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「外国語科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしく願いいたします。「外国語科」は6社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、東京書籍株式会社です。言語活動を発展的に進めるよう学習活動の展開が工夫されています。自分の考えや思いをペアで伝え合い、助言し合ったり、話題を広げたりする活動を通して、単元のゴールとなる言語活動の質を高められるよう構成されています。2社目は、開隆堂出版株式会社です。単元のゴールとなる言語活動に向けて、ペアやグループでのコミュニケーション活動が毎時間、繰り返し設定されており、表現や伝え合う力を段階的に身に付けられるよう工夫されています。3社目は、株式会社三省堂です。外国の物語など、既習表現を活用して読む教材が充実しています。また日本

や世界の文化に目を向ける題材が多く取り上げられており、児童の興味・関心を高め、豊かな心を育めるよう工夫されています。4社目は、教育出版株式会社です。言語活動を充実させるため、学習活動やワークシートなどの巻末教材に特徴が見られます。学習した英語を用いて、自分のことを表現したいという意欲を高められるよう工夫されています。5社目は、光村図書出版株式会社です。英語を活用する場面を一貫性のあるストーリーを用いて紹介し、児童が興味関心をもてるよう工夫されています。各領域の学習活動がバランスよく配置され、ICTを効果的に活用しながら、表現を繰り返し練習したり、協働的に学習したりできるよう配慮されています。6社目は、株式会社新興出版社啓林館です。ICT活用のコンテンツに特徴が見られ、児童が自分の考えや思いを表現できるよう工夫されています。学習内容の理解を段階的に深められる単元構成になっており、コミュニケーションを楽しみながら様々な表現を身に付けられるよう配慮されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上6社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、光村図書出版株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。6年生の教科書61ページにあるように、ICTを活用する場面を想定して、授業で使用できるコンテンツがたくさん用意されています。教師が使用しやすいような工夫だけでなく、児童が使用する視点も重要視されており、家庭での学習にも活用が期待できます。一貫性のあるストーリーを元に、「聞く」「話す（やりとり・発表）」「読む」「書く」がバランスよく配置され、重要な表現を、効果的に、繰り返し練習しやすくなっています。また、6年生の教科書37ページにあるとおり、自身のことを伝えたり、相手のことを聞いたりしながら、協働的に学習することで、表現を身に付けることができると考えられます。5年生の教科書10ページをご覧ください。話す活動において、児童同士の会話を補助するヒントや、教科書49ページにあるようなパフォーマンステストなどコミュニケーション能力を高めるための工夫が多く見られます。英語を使用する場面を設定することで必然性を高め実践的な力を身につけられるよう配慮されています。

次に推薦するのは、株式会社新興出版社啓林館の教科書です。5年生の教科書2、3ページをご覧ください。こちらにあるように、各単元において、スモールステップで段階的に学習への理解を深める構成になっています。ジングル・チャンツによる反復練習やインプット・（ミニ）アウトプットの繰り返しで基本表現の習得が期待できます。5年生の教科書6、7ページをご覧ください。各学年の初めに、発表ややりとりで大切なことを提示し、コミュニケーションの基本を確かめています。さらに、27ページの下にあるようなTipsでは、コミュニケーションに役立つ情報を紹介し、コミュニケーション能力が高まるように配慮されています。5年生の教科書97ページをご覧ください。各単元の後半に取り入れられている活動を通して、児童が場面や状況に応じて自分のことを伝えようとする力を育てたり、友達と協働的に活動することを通して外国語で伝え合う力を高めたりできると考えられます。デジタル教科書についてです。6年生の教科書85ページをご覧ください。Activityの場面でHintを選択すると、児童が言いたいことを選んで発音を聞くことができます。自分のペースで学習に取り組むことができ、主体的に伝えようとする意欲を高められると同時に、個別最適な学びが実現されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、株式会社新興出版社啓林館を推薦します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会 長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長： 次は、道徳についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 小学校教科用図書「道徳科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願ひいたします。「道徳科」は6社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。1社目は、東京書籍株式会社です。シンプルなページ構成と多様な教材や提示方法で、道徳的価値にせまる対話型の授業と学級の実態に合わせた授業展開ができるよう工夫されています。2社目は、教育出版株式会社です。体験的活動に重点を置き、児童自身が課題を発見し、考え、持続可能な社会の形成に関わっていけるような教材や資料の工夫がされています。3社目は、光村図書出版株式会社です。現代的な課題を考える教材とコラムを組み合わせたユニットを設け、多面的・多角的に考えを深めることができるよう工夫しています。4社目は、日本文教出版株式会社です。「いじめ防止」をテーマとしたユニットが全学年で配置され、子どもたちの人間関係形成への意識付けと自己肯定感の向上が図られるよう工夫されています。5社目は、株式会社Gakkenです。全学年で「生命の尊さ」について、他の内容項目の教材と組み合わせることで、多面的・多角的に生命についての考えを深められるよう工夫されています。6社目は、株式会社光文書院です。児童が多面的・多角的に考えられる問いや、継続した学びを促す問いが設定され、導入でもった問題を意識して終末で振り返りができるように工夫されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上6社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を述べます。3年生の106ページをご覧ください。次に、5年生の68ページをご覧ください。このように各学年で、シンプルなページ構成と多様な教材や提示方法が工夫され、児童や学級の実態に合わせた授業展開ができるよう工夫されています。1年生の34ページをご覧ください。次に、48ページをご覧ください。このように定番教材やビジュアル教材も精選されており、道徳的価値にせまる対話型の授業につながりやすい配慮がされています。5年生の184ページをご覧ください。思考ツールなども準備されており、見えにくい心情変化を視覚的に捉えやすくなり、対話的な授業の展開につながるよう工夫されています。3年生の148ページをご覧ください。各学年において題名の下にQRコードがあり、それを読み込むと、「朗読音声」「スライドショー（紙芝居）」「デジタルノート」、導入や終末で使える動画資料など、デジタルコンテンツが充実しており、個別最適な学びを保障する内容となるよう配慮されています。不登校傾向児の授業参加、リモート授業にも対応しやすくなっています。

次に推薦するのは、日本文教出版の教科書です。3年生の目次をご覧ください。このように全学年を通して、いじめ防止について集中的に学習する「人との関わり」ユニットが年間3回設定

され、多面的・多角的な視点で継続的に考えられるよう工夫されています。3年生の24ページをご覧ください。問題解決的な学習や体験的な学習の後に「ぐっと深める」を示し、自分自身と向き合えるような発問や役割演技などにより、児童が活動するときの参考になるよう工夫されています。5年生の道徳ノート为例にご説明します。別冊の道徳ノートには自由記述欄が設けられ、自分自身の考えや友達の考えを記録できるようになっており、思考の深まりだけでなく、自己の成長を感じることができるよう工夫されています。また、記録の蓄積は評価や教師の指導改善にもつなげることができます。5年生の14ページから19ページをご覧ください。このように各学年ごとに、児童の実態を踏まえた学級作りや学校生活・集団生活が充実できるよう、教材が系統的に配列され、児童が学習を振り返り、自分自身を見つめ直し、自己肯定感の向上につなげられるよう工夫されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、日本文教出版を推薦します。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会 長： では、調査員の先生ありがとうございました。次は協議ですので、傍聴人が入室いたします。

会 長： 協議を始めます。家庭、保健、外国語、道徳についてご意見ございますか。

会 長： では、次は議決となりますので、傍聴の皆さんは、ご移動をお願いいたします。

会 長： では、議決です。家庭について、本委員会としては「開隆堂」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 保健について、本委員会としては「大修館」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 外国語について、本委員会としては「啓林館」の教科用図書を選定し、次の候補として「光村図書」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 道徳について、本委員会としては「日本文教出版」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委員： 結構です。

会長： では、ここで休憩といたします。14時からの再開といたします。

休 憩

会長： 再開いたします。まず、小学校特別支援学級についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 令和6年度使用小学校特別支援学級教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。要項の3、4ページの「令和6年度使用小学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で35冊について調査研究いたしました。

今回の調査では、今まで使用していた図書に追加して、新たに5冊を取り入れました。新たに取り入れた図書には、◇印がついています。「社会」で1冊、「理科」で1冊、「図工」で1冊、「家庭」で2冊です。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新しく取り入れた図書5冊について御説明いたします。社会の◇印、学研の「さがしてみよう！マークのえほん 改訂版」です。12、13ページをご覧ください。本書は、生活場面ごとに、どこにどのようなマークがあるのか、またそのマークの意味についても取り上げられており、社会生活に根ざした内容になっています。また、62、63ページをご覧ください。このように、洗濯表示マークが新しいマークに対応しているため、昨年度採用のものから変更しました。次に、理科で取り入れた、くもん出版「小学1・2年生のうちに、りかの見方・考え方が楽しく身につく本」です。4、5ページをご覧ください。本書は、「シールを貼る」、「色を塗る」などから始めて、少しずつレベルアップしていくので、無理なく学習が進められるようになっています。次に、24、25ページをご覧ください。1・2年の生活科で育てた、アサガオやミニトマトを扱い、葉や実など理科の用語をおさえるかたちになっています。3冊目は、図画工作で取り入れた、NHK出版「ノージーのひらめき工房 レッツ！工作ピクニック」です。6、7ページをご覧ください。本書は、身近な材料でできる工作を分かりやすく取り上げています。また、10、11ページのように、制作方法が写真とイラストで示されています。児童にとって、イメージしやすく、実際の制作に生かせる内容になっています。4冊目は、家庭科で取り入れた、合同出版「絵でわかるこどものせいかつずかん ①みのまわりのきほん」です。24、25ページをご覧ください。本書では、生活の中の具体的な行動が分かりやすくイラストとひらがなで示されています。児童が生活の中で経験する、様々な場面での基本的な動作を、無理なく身に付けられる内容になっています。最後に、同じく家庭科で取り入れた、合同出版「絵でわかるこどものせいかつずかん ③おでかけのきほん」です。6、7ページをご覧ください。このページには外出時の服装の選び方についてくわしく書かれています。また、20、21ページをご覧ください。外出時に気を付けることなどが書かれています。一つの場面が見開き1ページで見やすくまとめられていて、実生活で役立つ内容となっています。

以上の5冊が令和6年度小学校特別支援学級教科用図書として、新たに取り入れた図書です。

全35冊、小学校特別支援学級用教科用図書としてふさわしいと思われる図書について調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会長： 次は、中学校特別支援学級についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 令和6年度使用中学校特別支援学級教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。

要項の5、6ページの「令和6年度使用中学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で34冊について調査研究いたしました。今回の調査では、今まで使用していた図書に追加して、新たに3冊を取り入れました。新たに取り入れた図書には、◇印がついています。書写1冊、保健体育1冊、外国語1冊の合計3冊です。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新しく取り入れた図書3冊について御説明いたします。

はじめに、書写で◇印の日本習字普及協会「母と子のお習字上一・二・三年生」についてご説明いたします。この図書は、教材文字と学習の流れがひと目で分かりやすく見開き1ページでまとめられており、硬筆についても配列され、学習効果を高められるよう工夫されています。また、書き方の基本となる平仮名、片仮名、漢字が取り上げられており、生徒の生活に役立てることができます。参考手本には、文字を形づくるための点線が示されています。スクリーンをご覧ください。例えば16、17ページの「いけ」という題材では、その点線を意識しながら書かせることにより、どこから書きはじめて、どこで終わるかを明確に示すことができます。同じように26、27ページの「土」という漢字でも同様の点線が示されています。書字を整えることに課題がある生徒に対しても意欲的に学ばせることができ、一人ひとりの学びの手助けとなります。84、85ページにはひらがな一覧とそれぞれの点線が示されています。そして、これまで硬筆の一般図書が多く採択されていたことも本書の調査研究の背景にあり、筆順や筆づかい等について分かりやすく説明され、学年配当の基本的な漢字を学ぶことができる毛筆指導に関する本書を、教科用図書として推薦させていただきます。

次に、保健体育の「こども衛生学」についてご説明いたします。こちらは、現在、問題となっている感染症や公衆衛生に関する内容について、豊富なイラストを用いて分かりやすくまとめられています。文章表現も平易で親しみやすく、漢字にも読み仮名が振られていることで、生徒一人ひとりの理解を深めながら学ぶことができます。22、23ページには「よく登場する言葉、知っていると分かりやすくなるキーワード」をまとめ、理解の手助けとなるような工夫がされています。そして、衛生学の観点から、日常の暮らし、身の回りに関する疑問・質問を主題とすることで、日常生活への発展性も考慮されています。また、豊富な事項を取り扱っており、生徒が興味・関心をもって学習に臨むことができます。発達段階に応じるころではありますが、基本的な衛生感覚を身に着けさせることは重要であり、その点に関しても本書では多くの事項を取り

扱っています。また、「知ってほしいこと」と「行動できるようになってほしいこと」という観点から事項を取り扱っており、26、27ページの「手洗いうがいはなぜするの?」という題材では、先ほど述べた2つの観点から1ページがまとめられており、日常生活への発展性も考慮されています。そして、保健体育での授業だけでなく、他教科とも関連を図りながら活用して使うことができます。例えば、家庭科の授業や特別活動での指導場面で活用して使うことが期待できます。最後に、外国語の「英語にぐーんと強くなる 小学3・4年生」についてご説明いたします。この図書はlisteningやtalkingに重点を置いた教材となっております。40、41ページをスクリーンに映し出しております。各レッスンで学ぶ英語表現は、1のように自然な場面が設定されており、自分が実際に使うことを意識しながら学習を進めることができます。その中でも、5のように身につけた英語表現を活用して取り組む問いがあること、日常生活に即した問いが設定されていることが特徴としてあげられます。2や4のように音声聞いてまねるという基本的な学習から、自分が実際に使う場面を意識しながら学ぶという発展的な学習まで、系統的に編集された教材となっております。そして、英会話表現とともに、3のように、使い方や注意すること、英文法等のwritingの指導とも関連づけた指導が実践できるような教材となっております。また、本書にはQRコードが添付されており、それぞれが持つchromebookでそれを読み取ることでlisteningの教材に取り組むことができ、発音を単に学べるだけでなく、一人一人が思考力を伴う主体的な学習が行える等の工夫があります。従来のCDではなく、QRコードを用いることで、より主体性が育まれ、CDを持つ教師主導の一斉指導からの脱却ができ、一人一人の教育的ニーズに応じた指導ができます。また、GIGA school構想との関連を図ることもできます。

以上の3冊が令和6年度中学校特別支援学級教科用図書として、新たに取り入れた図書です。全34冊、中学校特別支援学級教科用図書としてふさわしいと思われる図書について、調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしく願います。

会 長： 報告いただきました内容について、委員の皆さんから質問はございますか。

会 長： では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長： 次は協議ですので、傍聴人が入室いたします。

会 長： 協議を始めます。特別支援学級の教科用図書についてご意見ございますか。

会 長： では、次は議決となりますので、傍聴の皆さんは、ご移動をお願いいたします。

会 長： 小学校特別支援学級の教科用図書については、新たな5冊を加えるということによろしいでしょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 小学校特別支援学級の教科用図書については新たな5冊を加えた35冊を認めるということに
します。

会 長： 中学校特別支援学級の教科用図書については、新たな3冊を加えるということによろしいでし
ょうか。

委 員： 結構です。

会 長： 中学校特別支援学級の教科用図書については新たな3冊を加えた34冊を認めるということに
します。すべての選定が終了しました。私の進行は以上で終了いたします。本日選定されたもの
を教育委員会に答申いたします。進行を事務局に戻します。

事務局： はい。ここからは、傍聴人が入室します。

委員の皆様、ご協議ありがとうございました。会長からもありましたとおり、本日の内容は14
日の教育委員会に答申いたします。

以上で、令和5年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を閉会とさせていただきます。
大変お疲れさまでした。